

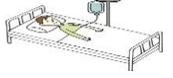
# 入院診療計画書

(エンボス)

診断名： 膀胱腫瘍  
 症状： \_\_\_\_\_  
 治療内容： 経尿道的膀胱腫瘍切除術

推定される入院期間：6日

入院病棟： \_\_\_\_\_

項目	日付	月 日			月 日	月 日	月 日	月 日～月 日
		入院日(手術前日)	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目～退院日	
達成目標		不安を表出でき、疑問がなく手術に臨むことができる。	→	苦痛時や疼痛時、看護師に伝えることができる				退院後の生活について不安な点を質問し理解できる
説明		下記の注1、2、3と「入院のご案内」を必ずお読みください。	入院中、安全に過ごせるように抑制の許可を頂くことがあります。					尿の管が抜け、状態を確認してから医師の指示で退院となります。退院後の注意事項を医師、看護師が説明します。
検査・処置		血栓症予防のためのストッキングを履くのでサイズを測ります。入院時から尿をためます。専用の容器をトイレに設置するので、そこにためて下さい。	洗腸を行います( 時) 血栓症の予防のためのストッキングを履きます。継続して尿をためて下さい。	・点滴、酸素をそのままストレッチャーで部屋へ戻ります。 ・酸素は医師の指示があるまで行います。 ・血圧や体温など全身の状態を看護師が随時確認をします。	朝、医師の診察があります。状態により、医師の指示にて採血を行います。			尿の管を抜いた後は尿をためて下さい。
安静		病院内であれば制限はありませんが、外出は医師の指示が必要となります。		寝返りはうてますが、翌朝までベッド上で安静になります。尿の管が挿入されます。	回診後は病院内であれば制限はありません。初回の歩行は看護師が付き添います。	制限はありませんが、外出は医師の指示が必要となります。		
注射			手術着に着替え、( )時に点滴をし、手術室へ行きます。		医師の指示にて点滴があります。			
食事 特別な栄養管理の必要性あり		管理栄養士から説明があります。夕食までは通常の食事です。消灯後(22時)より食事、水分は摂れません。	朝から食事、水分は禁止です。		朝から食事が再開となります。			
内服		いつも服用している薬を持参し、看護師に渡してください。内服は医師の指示に従ってください。	医師の指示にて内服薬を中止します(降圧剤のみ少量の水で内服することがあります)		内服薬は朝から再開します。			退院後使用する薬剤を薬剤師が説明します。
清潔		入浴できます。 			温かいタオルで体を拭き、ゆかたに着替えます	体の状態が良ければシャワーが可能になります。シャワー浴の日は男性：月・水・金、女性：火、木、土です。		
リハビリ								
その他		本院1階に医療相談室があります。様々なお困りごとについて、ご相談下さい。	症状により医療ソーシャルワーカーへの情報提供・ご案内を行います。	痛みや尿意が強い時は看護師に伝えて下さい。 手術翌日以降は1日1000～1500mlを目標に水分を摂って下さい。	→	→	→	

注1 診断名は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わり得るものです。  
 注2 入院期間は、現時点で予想されるものです。  
 注3 入院費用に関するご質問は、医事課入院受付窓口にお問い合わせ下さい。

以上説明を受け、理解致しました。

年 月 日

担当医(説明医)

看護師名

ご署名(本人・家族)